

営農技術情報

【強風・融雪】

令和5年3月13日

胆振農業普及センター東胆振支所

TEL0145-42-2528・FAX0145-42-5597

強風・融雪に備えて

胆振・日高地方では、13日夕方にかけて気温が高く、広い範囲で雨が降り、南東の風が強まる見込みです。また、前線通過後は雨が雪に変わる見込みです。

雪解けが急速に進み、農業用施設などへの影響が懸念されることから、随時発表される気象情報に十分注意し、次の事項の徹底に努めて下さい。

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>

1 共通事項

- (1) 最新の気象情報を十分に確認し、早めの準備を行う。
- (2) 農舎や畜舎、ビニールハウスの施設各部の点検・補修を行う。

2 園芸ハウス

- (1) 融雪水がハウス内に浸透すると、地温低下に加え、土壌水分やハウス内の湿度が高まり、生育不良や凍害・病害が発生する恐れがあるため、ハウスサイドの除雪に加え、ハウスほ場内外の排水に努める。
- (2) 開口部や施設各部の損傷・ゆるみなどを点検し、必要に応じて補修等を行う。
- (3) ハウスの筋かいは、全体の筋かいが均等に締め付けられるように調節する。
また、ハウス中央部に支柱を設置し、暴風雪に対するハウス強度を高める。
- (4) ハウスの気密性を高め、加温設備がある場合は可能な範囲で室温を高め、天張面を温め落雪を促す。ただし、ハウス内に作物がある場合は、温度の上がりすぎに注意する。
- (5) ビニールが雪の重みでたわんでいるときは、破れの発生や、裂け目が広がり雪の下敷きになることがあるので、下から棒で突かない。
- (6) 停電に備えて自家発電機や簡易暖房機、暖房用ろうそく等を確保して、緊急時に保温暖房できる機材を準備する。

3 畜産

- (1) 倒壊の恐れのある建物は可能な限り補強するとともに速やかな除雪を行う。
- (2) 停電・断水の恐れがあるため、畜舎では発電機の手配、自家発電機の試運転、発電能力と使用する施設・機械の必要電力の確認、給水タンクの手配等の対策を事前に行う。
- (3) 酪農では、停電により搾乳及びバルククーラーの冷却ができない場合は、次を参考に対策に努める。
 - ① 前回搾乳から16時間位までの搾乳中止は、乳量や乳質に特に問題は生じない。
 - ② 発電装置は搾乳を最優先事項とし、発電能力に合わせて通電する優先順位を決める。
 - ③ 停電により搾乳が不可能な場合、牛舎への出入りは必要最小限にし、牛に搾乳刺激を与えない。また、給水制限すると同時に濃厚飼料の給与は控える。また、手搾りが可能な酪農家は泌乳前期牛の搾乳を優先する。